

## つながる EPO ネットワーク

全国 8 カ所に設置された  
環境パートナーシップオフィス (EPO) の活動



### 「歩く観光」九州自然歩道を活用した 地域ぐるみの観光振興

山内一平 (環境省九州地方環境パートナーシップオフィス)

歩きながら地域交流するツーリズムが人気だが、九州では7県をネットワークス状に結ぶ約3,000Kmの「九州自然歩道」がロングトレイルとして親しまれている。しかし、設置から30年以上経過し、歩道の老朽化や整備の遅れ等の問題が表面化してきた。

そこで、九州自然歩道をさらに魅力的なロングトレイルとし、持続的

に地域の環境保全や地域活性化の拠点にすることを旨とし、「九州自然歩道フォーラム」(事務局 NPO法人グリーンシティ福岡) が設立された。この取組は環境省の事業に採択され、EPO九州が伴走支援を行った。主な取組として、アウトドア団体や自治体を巻き込みながら、情報交換の九州自然歩道フォーラムミーティングの開催、おすすめコースの選定やウォークイベントの実施、WEBサイト作成や通信紙発行、踏破証制度がある。イベントを通じて、歩道の利用者が管理に関わる協働型の歩道活用がポイントだ。

環境省も「国立公園満喫プロジェクト」を通じ、国立公園のブランド化と外国人観光客の誘致に取り組んでいて、九州からは阿蘇くじゅう国

立公園と霧島錦江湾国立公園の2カ所が選定。いずれも九州自然歩道のルートに重なっている。「歩く文化」が定着するなかで、多くの人が豊かな九州の自然を求め、九州自然歩道を訪れることが見込まれる。

観光・ツーリズムが多様化するなか、九州自然歩道の利用者と管理者をつなぐ九州自然歩道フォーラムのあり方は一つのモデルだ。百聞は「一步」に如かず。まずは九州自然歩道を歩いてみてはいかがだろう。

#### 環境省九州地方 環境パートナーシップオフィス (EPO九州)

2007年9月に開設された九州地方の環境パートナーシップづくりの支援拠点。環境省九州地方環境事務所と民間団体が協働で運営している。地域で活動する団体等と連携し、協働取組やESD環境教育等の推進に取り組む。  
<https://epo-kyushu.jp/>



九州自然歩道  
通信第11号

## つな環

第30号

2017年10月発行

編集・発行：地球環境パートナーシッププラザ  
<http://www.geoc.jp/>  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前5-53-70国連大学1F  
Tel. 03-3407-8107 Fax. 03-3407-8164  
開館時間：10:00～18:00(火～金曜)  
セミナー開催時は21:00まで  
10:00～17:00(土曜)  
休館日：日曜・月曜・祝日・年末年始

関東地方環境パートナーシップオフィス(関東EPO)  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山B1F  
Tel. 03-3406-5180 Fax. 03-3406-5064  
業務時間：10:00～18:00  
休業日：土曜、日曜、祝日、年末年始

デザイン：安食正之(北路社)  
印刷：光写真印刷株式会社

### GEOC/EPOからのお知らせ

持続可能な社会を担う人材育成のためのESDを推進しようと、各地の取組を支援・共有するための仕組みのひとつとして「ESD活動支援センター」が設置されました。地域で広がる課題解決のための学びをつないでいくことにより相乗効果・波及効果を高めます。

地方ESD活動支援センターは2017年7月から各地方EPOに開設され、ブロックでのマッチングのほかESD活動のための学びの場づくりやつなぎ手としての役割を担います。地域の活動支援センターを是非ご活用ください。



<http://esdcenter.jp/>

#### つな環編集部

星野智子、尾山優子、藤原祥子、江口健介、今井麻希子(順不同)

つな環

検索

「つな環」はインターネットからもご覧いただけます。  
<http://www.geoc.jp/information/tsunakan>

